Creative Enzymes®

ネイティブ牛ヌクレオシド5'-二リン酸キナーゼ

Cat. No. NATE-0477

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ヌクレオシド二リン酸キナーゼは、異なるヌクレオシド二リン酸間でリン酸基の交換を触媒する酵素です。NDKの活性は、例えばクエン酸回路（クレブス回路）で生成されたGTPがATPに□換されるときのように、異なるヌクレオシド三リン酸の濃度間の平衡を維持します。ヌクレオシド二リン酸キナーゼは、真核細胞において2つのアイソフォーム、NDK-AとNDK-Bとして存在します。これらの酵素は、ミトコンドリアと細胞質の両方で発現しています。
用途	ヌクレオシド5′-二リン酸キナーゼは、ラットの粘膜肥□細胞におけるタイプI Fcエプシロン受容体媒介のCa2+流入およびメディエーター分泌の抑制を評価する研究に使用されました。また、ウサギの網赤血球におけるタンパク質合成を調□する研究にも使用されました。
別名	ヌクレオシド二リン酸キナーゼ; ヌクレオシド5'-二リン酸キナーゼ; ヌクレオシド二リン酸 (UDP) キナーゼ; ヌクレオシド二リン酸キナーゼ; ヌクレオチドリン酸キナーゼ; UDPキナーゼ; ウリジン二リン酸キナーゼ; ATP:ヌクレオシド二リン酸ホスホトランスフェラーゼ; NDPK; NDKs; NDPキナーゼ; EC 2.7.4.6; 9026-51-1

製品情報

種	牛の
由来	牛肝
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
EC番号	EC 2.7.4.6
CAS登□番号	9026-51-1
活性	> 1,000 ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)
単位定義	1ユニットは、pH 7.6、25°Cの条件下で、PK/LDHと連結したシステムにおいて、1分あたり1.0 µmoleのTDPとATPをTTPとADPに□換します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C